

## 平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 株式会社 エムティーアイ  
 コード番号 9438 URL <http://www.mti.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 前多 俊宏  
 (氏名) 松本 博

TEL 03-5333-6323

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	5,798	—	266	—	237	—	140	—
20年9月期第1四半期	5,095	17.8	466	—	443	—	94	△85.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	1,041.76	1,040.51
20年9月期第1四半期	1,357.03	1,343.16

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年9月期第1四半期	10,298	—	5,223	—	50.5	—	38,747.28	
20年9月期	10,758	—	5,385	—	49.9	—	39,567.06	

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 5,200百万円 20年9月期 5,368百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年9月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,670	11.2	510	△27.0	510	△23.5	270	71.3	—	1,989.87
通期	24,000	11.0	2,100	21.6	2,100	25.3	1,500	166.3	—	11,054.85

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無  
 対前年同四半期増減率および対前期増減率は参考として記載しています。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名 — ) 除外 — 社(社名 — )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 有

(注) 詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月期第1四半期	135,811株	20年9月期	138,880株
② 期末自己株式数	21年9月期第1四半期	1,594株	20年9月期	3,193株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年9月期第1四半期	135,238株	20年9月期第1四半期	69,739株

(注) 当社は、平成20年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主に対し、平成20年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を実施しています。このため、平成20年9月期第1四半期の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、および期中平均株式数の数値は、株式分割前の株数にて算出し、平成21年9月期第1四半期は株式分割後の株数にて算出しています。

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。
- 本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的风险等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については4～5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

## (1) 2009年9月期 第1四半期の概況(2008年10月1日～2008年12月31日)

当社グループは、第3.5世代携帯端末の普及に伴い、市場が拡大している着うたフル®や最大の季節需要期を迎えるデコレーションメールを中心に有料会員数の拡大を図るべく、TV広告・モバイル広告等のプロモーション活動を積極的に展開しました。これにより、着うたフル®、デコレーションメールの有料会員数は好調に拡大するとともに、健康情報、天気予報等の生活情報系コンテンツの有料会員数も順調に拡大しました。

これらの結果、主力事業であるコンテンツ配信事業の2008年12月末の有料会員数は670万人(2008年9月末比60万人増)まで拡大し、自社メディア型広告事業も相応に推移したため、売上高は5,798百万円(前年同期比13.8%増)となりました。

売上総利益は、コンテンツ配信事業の有料会員数の拡大に伴う増収により3,902百万円(同8.1%増)となりましたが、営業利益、経常利益については、支払家賃の増加やプロモーションのための広告宣伝費を積極的に投入したことにより、それぞれ266百万円(同43.0%減)、237百万円(同46.5%減)となりました。

なお、四半期純利益については、本日、発表しました「特別損失の計上に関するお知らせ」とおり、特別損失として232百万円を計上しましたが、税効果会計の適用により140百万円(同48.9%増)を確保しました。

## 連結業績

(単位:百万円)

	2009年9月期 第1四半期	2008年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
売上高	5,798	5,095	703	13.8%
売上総利益	3,902	3,610	291	8.1%
営業利益	266	466	△200	△43.0%
経常利益	237	443	△206	△46.5%
四半期純利益	140	94	46	48.9%

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

## (2) 事業セグメント別の概況

## ① コンテンツ配信事業

音楽系コンテンツは、人気楽曲獲得やプロモーション展開に注力し、着うたフル®を中心に有料会員数は好調に拡大しました。なお、2008年12月よりアーティストの最新プロモーションビデオを配信する音楽映像サイト『music.jp ビデオクリップ』の新サービスを開始しました。

デコレーションメールでは、クリスマス・年末年始の季節需要の取り込みを図るべく、積極的なプロモーション展開を行ったほか、新規サイト『デコとも★えもじ DX』や『デコとも★キセカエ DX』のサービス立ち上げ等もあり、有料会員数は大きく拡大しました。

健康情報、天気予報や道路交通情報、地図等の生活情報系コンテンツにおいても、各コンテンツに効果的なプロモーション展開の実施により、有料会員数は順調に拡大しました。

これらの結果、2008年12月末の有料会員数は670万人(2008年9月末比60万人増)となり、売上高は5,675百万円(前年同期比14.9%増)に拡大しましたが、営業利益はプロモーション活動を積極的に展開したこと等により、415百万円(同51.5%減)となりました。

## ② 自社メディア型広告事業

先行的費用投資に伴う赤字額を最小限に抑えながら、『デコとも』、『ログとも』の登録会員の活性度の向上に取り組みました。合算の登録会員数は401万人(2008年9月末比10万人増)となり、売上高は143百万円(前年同期比11.5%減)、営業利益は△128百万円(前年同期は△368百万円)となりました。

## セグメント別連結売上高

(単位:百万円)

	2009年9月期 第1四半期		2008年9月期 第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
コンテンツ配信	5,675	97.9%	4,939	96.9%	736	14.9%
自社メディア型広告	143	2.5%	162	3.2%	△18	△11.5%
連結合計	5,798	100.0%	5,095	100.0%	703	13.8%

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における売上高連結合計額には、消去又は全社の数値(2009年9月期 第1四半期 △20百万円、2008年9月期 第1四半期 △6百万円)を含んでいます。

## セグメント別連結営業利益

(単位:百万円)

	2009年9月期 第1四半期		2008年9月期 第1四半期		増減	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
コンテンツ配信	415	7.3%	856	17.3%	△441	△51.5%
自社メディア型広告	△128	△89.2%	△368	△226.5%	240	—
連結合計	266	4.6%	466	9.2%	△200	△43.0%

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における営業利益連結合計額には、消去又は全社の数値(2009年9月期 第1四半期 △20百万円、2008年9月期 第1四半期 △21百万円)を含んでいます。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期末の資産合計は10,298百万円となり、2008年9月末に比べ460百万円の減少となりました。

資産の部については、流動資産では売掛金が増加しましたが、主に現金及び預金が増減したことにより480百万円の減少となり、固定資産では投資有価証券が減少しましたが、主にソフトウェアや敷金保証金の増加により19百万円の増加となりました。

負債の部については、流動負債では買掛金が増加しましたが、主に未払法人税等が増減したことにより336百万円の減少となり、固定負債では主に退職給付引当金の増加により37百万円の増加となりました。

純資産の残高については、四半期純利益として140百万円を計上しましたが、自己株式の増加により161百万円の減少となりました。

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2009年9月期 第1四半期	10,298	5,223	50.5	38,747.28
2008年9月期	10,758	5,385	49.9	39,567.06

## (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物は2008年9月末対比475百万円減少の966百万円となりました。

当期における各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加や法人税等の支払額等による資金流出がありました。減価償却費の計上や仕入債務の増加等により21百万円の資金流入(前年同期は161百万円の資金流出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式の売却による収入がありましたが、無形固定資産（主にソフトウェア）の取得による支出等により 144 百万円の資金流出（前年同期は 565 百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出や配当金の支払等により 333 百万円の資金流出（前年同期は 204 百万円の資金流入）となりました。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2009年9月期 第1四半期	21	△144	△333	966
2008年9月期 第1四半期	△161	△565	204	951
2008年9月期	1,449	△1,470	△11	1,442

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

2009年9月期においては、主力事業である音楽系コンテンツを拡大させるとともに、コンテンツ配信事業の中で成長が期待できる分野には積極的に投資を行っていきます。一方、新規事業であるコミック、自社メディア型広告事業については、先行的費用投資による赤字額をコントロールしながら、事業基盤の確立を図ります。これらの施策を引き続き実行することにより、通期業績予想の達成を目指します。

#### 〔コンテンツ配信事業〕

音楽系コンテンツにおいては、『music.jp』の有料会員数拡大に注力します。人気楽曲獲得や積極的なプロモーション展開による入会促進、継続顧客に対するキャンペーン等による退会抑止に取り組むことにより、音楽系コンテンツ全体の有料会員数の拡大を図ります。

生活情報系コンテンツやその他コンテンツにおいては、デコレーションメールや天気予報をはじめとする有料会員数の拡大が期待できる分野に対して、積極的にプロモーション展開を行うことにより、これらのコンテンツの有料会員数をさらに拡大させる計画です。

コミック配信については、当面、品揃えの拡充を図るとともに退会率の改善に注力します。プロモーション費用をコントロールすることで、赤字幅を最小限に抑えながら、引き続きトップクラスの地位を堅持することに取り組んでいきます。

#### 〔自社メディア型広告事業〕

自社メディア型広告事業においては、モバイル広告市場の本格的な拡大に至るまで時間を要するものと見込んでいるため、赤字幅を最小限に抑えながら、『デコとも』と『ログとも』の登録会員の活性度を高めることにより、広告媒体となりうるメディア力の向上に注力していきます。

なお、自社メディア型広告事業の広告収入については、現時点では大きく拡大させることが難しいと判断しているため、『デコとも★DX』の有料会員数の増加による課金収入の拡大により、全社の採算向上に取り組んでいきます。

連結の業績予想は、下記のとおり、2008年11月4日に発表しました数値から変更はありません。

**2009年9月期の第2四半期累計期間業績予想**  
(2008年10月1日～2009年3月31日)

連結		
売上高	11,670百万円	(前期比 11.2%増加)
営業利益	510百万円	(前期比 27.0%減少)
経常利益	510百万円	(前期比 23.5%減少)
当期純利益	270百万円	(前期比 71.3%増加)

**2009年9月期の通期業績予想**  
(2008年10月1日～2009年9月30日)

連結		
売上高	24,000百万円	(前期比 11.0%増加)
営業利益	2,100百万円	(前期比 21.6%増加)
経常利益	2,100百万円	(前期比 25.3%増加)
当期純利益	1,500百万円	(前期比 166.3%増加)

#### 4. その他

**(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)**

該当事項はありません。

**(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

**(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更**

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

② 会計処理方法の変更(会計基準等の改正に伴うものを除く。)

(退職給付会計)

当社グループは、退職給付債務の算定にあたり、前連結会計年度までは簡便法によっていましたが、当連結会計年度から原則法による算定方法に変更しています。

この変更は、従業員数の増加により、退職給付債務の金額に重要性が生じたため、その算定の精度を高め、退職給付費用の期間損益計算をより適正化するために行ったものです。

この変更に伴い、当期首における退職給付債務について計算した簡便法と原則法の差額89,116千円を特別損失に計上しています。

この結果、従来と同一の方法によった場合と比較して、営業利益および経常利益は6,483千円減少し、税金等調整前四半期純利益は95,600千円減少しています。

5 【四半期連結財務諸表】  
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	966,563	1,442,113
売掛金	5,691,318	5,441,371
商品	1,135	1,154
貯蔵品	3,652	8,855
繰延税金資産	596,171	554,452
その他	543,517	629,258
貸倒引当金	△538,069	△332,258
流動資産合計	7,264,290	7,744,946
固定資産		
有形固定資産	239,418	247,688
無形固定資産		
ソフトウェア	1,114,424	1,049,195
その他	7,112	7,369
無形固定資産合計	1,121,536	1,056,564
投資その他の資産		
投資有価証券	545,470	768,515
敷金及び保証金	648,267	562,791
繰延税金資産	427,539	330,760
その他	152,011	64,747
貸倒引当金	△100,232	△17,032
投資その他の資産合計	1,673,056	1,709,783
固定資産合計	3,034,010	3,014,035
資産合計	10,298,301	10,758,982

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,042,872	1,577,043
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	200,196	200,196
未払金	878,747	766,760
未払法人税等	22,413	799,924
コイン等引当金	699,614	628,547
その他	295,102	502,841
流動負債合計	4,188,946	4,525,313
固定負債		
長期借入金	649,657	699,706
退職給付引当金	98,455	2,021
負ののれん	102,086	104,366
その他	35,410	42,037
固定負債合計	885,609	848,131
負債合計	5,074,556	5,373,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,509,548	2,506,071
資本剰余金	3,019,729	3,016,252
利益剰余金	△176,843	335,459
自己株式	△154,875	△499,372
株主資本合計	5,197,559	5,358,411
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,983	10,323
評価・換算差額等合計	2,983	10,323
新株予約権	23,202	16,802
純資産合計	5,223,745	5,385,537
負債純資産合計	10,298,301	10,758,982

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	5,798,959
売上原価	1,896,958
売上総利益	3,902,000
販売費及び一般管理費	3,635,790
営業利益	266,210
営業外収益	
受取利息	298
負ののれん償却額	2,279
雑収入	1,428
営業外収益合計	4,006
営業外費用	
支払利息	5,417
持分法による投資損失	1,687
消費税等調整額	24,229
雑損失	1,588
営業外費用合計	32,923
経常利益	237,293
特別利益	
投資有価証券売却益	6
特別利益合計	6
特別損失	
関係会社株式売却損	3,503
退職給付費用	89,116
コンテンツ情報料	139,527
特別損失合計	232,147
税金等調整前四半期純利益	5,152
法人税、住民税及び事業税	2,684
法人税等調整額	△138,418
法人税等合計	△135,733
四半期純利益	140,886

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自平成20年10月1日  
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	5,152
減価償却費	205,219
退職給付引当金の増減額(△は減少)	96,434
受取利息及び受取配当金	△298
コイン等引当金	71,066
売上債権の増減額(△は増加)	△249,950
仕入債務の増減額(△は減少)	465,828
未払金の増減額(△は減少)	102,223
その他	81,454
小計	777,131
利息及び配当金の受取額	317
利息の支払額	△5,457
法人税等の支払額	△750,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	
無形固定資産の取得による支出	△258,210
関係会社株式の売却による収入	216,000
その他	△102,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△154,875
配当金の支払額	△135,687
その他	△43,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△457,332
現金及び現金同等物の期首残高	1,442,113
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△18,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	966,563

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

**(4) 継続企業の前提に関する注記**

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	コンテンツ 配信事業 (千円)	自社メディア 型広告事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	5,675,562	123,397	5,798,959	—	5,798,959
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	20,535	20,535	△20,535	—
計	5,675,562	143,933	5,819,495	△20,535	5,798,959
営業利益又は 営業損失(△)	415,140	△128,352	286,787	△20,576	266,210

(注) 事業の区分の方法および各区分に属する主要なサービスおよび製品の名称

- 1 事業区分の方法………サービスの内容および特性を考慮して区分しています。
- 2 各事業区分に属する主要な製品等の名称は下記のとおりです。

コンテンツ配信事業………モバイル・コンテンツ配信(公式サイト運営)、広告代理店、等

自社メディア型広告事業……モバイル・コンテンツ配信(一般サイト運営)、広告代理店、等

**【所在地別セグメント情報】**

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

**【海外売上高】**

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しています。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

該当事項はありません。

## 参考資料

前第1四半期に係る財務諸表等第  
(四半期連結損益計算書)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 売上高	5,095,337
II 売上原価	1,485,077
売上総利益	3,610,260
III 販売費及び一般管理費	3,143,633
営業利益	466,627
IV 営業外収益	3,182
V 営業外費用	25,940
経常利益	443,868
VI 特別損失	175,010
税金等調整前四半期純利益	268,858
法人税、住民税及び事業税	157,686
法人税等調整額	16,533
当期純利益	94,638

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動による キャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前第1四半期純利益	268,858
減価償却費	138,450
貸倒引当金	85,211
受取利息及び受取配当金	△229
支払利息	3,232
持分法投資損益	18,542
コイン等引当金繰入額	31,946
投資有価証券評価損	175,010
売上債権の増減額	△236,697
仕入債務の増減額	127,402
未払金の増減額	△107,817
その他	△201,458
小計	302,449
利息及び配当金の受取額	229
利息の支払額	△4,207
法人税等の支払額	△460,114
営業活動による キャッシュ・フロー	△161,642
<b>II 投資活動による キャッシュ・フロー</b>	
無形固定資産の取得による支出	△265,129
敷金の増減額	△300,123
その他	△505
投資活動による キャッシュ・フロー	△565,758
<b>III 財務活動による キャッシュ・フロー</b>	
短期借入金純増減額	550,000
自己株式の取得による支出	△254,853
配当金の支払額	△104,955
その他	13,934
財務活動による キャッシュ・フロー	204,126
IV現金及び現金同等物の増減額	△523,274
V現金及び現金同等物の期首残高	1,474,997
VI現金及び現金同等物 の第1四半期末残高	951,722

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

【事業の種類別セグメント情報】

	コンテンツ 配信事業 (千円)	自社メディア 型広告事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に 対する売上高	4,939,244	156,093	5,095,337	—	5,095,337
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,577	6,577	△6,577	—
計	4,939,244	162,670	5,101,915	△6,577	5,095,337
営業費用	4,082,565	531,128	4,613,693	15,017	4,628,710
営業利益又は 営業損失(△)	856,678	△368,457	488,221	△21,594	466,627